



豊島区長
高野 之夫
たかの ゆきお

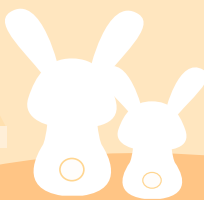


と しょ か ん つ う し ん と 書 館 通 信

発行 ● 豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四一五一一
ライズアリーナビル四階・五階 〒113-8442
電話 ● 〇三―三九八三―七八六一
FAX ● 〇三―三九八三―九九〇四
ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp/>
発行日 ● 平成29年10月

トピックス

- 巻頭言 豊島区長 高野之夫……………1ページ
- くらげコラム ほほ日の学校長／編集者 河野 通和……………1ページ
- わが人生の師 元日本銀行副総裁 藤原 作弥……………2ページ
- 生涯の一冊 株式会社董心社会長 酒井 京子……………2ページ
- この本カフェ……………2ページ
- 豊島区と童話……………2ページ
- 青山学院女子短期大学子ども学科准教授 西山利佳……………3ページ
- こども時代の愛読書 作家・歌人 尾崎 左永子……………3ページ
- 図書館イベント情報・図書館カレンダー……………4ページ



将来の世代のために 魅力あるまち・図書館をめざして

豊島区は平成17年の「文化創造都市宣言」で文化を基軸としたまちづくりを掲げ、その第一歩として平成19年7月に新中央図書館(一希豊島区)を開設した。図書館行政政策顧問の故柏台一希豊島区長が、はじめ、多くのみなさまのご意見を伺いながら、おかげさまで中央図書館は、移設10周年を迎えました。中央図書館は、東京メトロ東池袋駅に直結した立地を生かし、夜10時までの開館、休館日は月2回

だけという利用者の立場に立った運営やパソコン席を配置したヒジネス図書館として特色を発揮しています。最大の特徴は、時期を同じくして3階に開設した「あうるすぽっと」(舞台芸術交流センター)と一体となった文化芸術の創造と情報発信の機能を担っていることです。おかげさまで、累計来館者数は今年度中に1千万人を突破する見込みです。

こらこら コラム

第2回

歪んだ自己表現？

ほほ日の学校長／編集者 河野 通和

今年5月、各地の図書館が所蔵する小中高校の学校史や記念誌の一部が切り取られるという事件が相次ぎました。被害は全国で計2000ページ以上にものぼるといわれ、切り取られたページは、いずれも卒業式や部活動・学校行事などの集合写真だったといえます。ほとんどがカッターでページまるごと切り取られていて、中には手で破り取られたケースもあったとのこと。図書館内での閲覧のみが可能な資料が大半だったため、貸出記録のある本と違って、犯行の特定は困難だといえます。通常は、プライバシー保護のため閲覧スペースに防犯カメラは設置していませんので、今後は本を書庫に移し、申請があれば出庫するといった対策を講じるそうです。

このニュースを最初に聞いて思い出したのは、2014年3月に起こった「アンの日記」やその関

連書籍が、東京都内のいくつもの図書館で、何と300冊以上も破り取られていた事件です。反ユダヤ主義的な背景をもつ。政治的、犯行ではないか、などと取り沙汰されましたが、逮捕された36歳の男性被疑者は、「犯行当時心神喪失の状態にあった」として、結局、不起訴になりました。

今回はさらに犯人像を推定する手がかりがなく、誰が、何の目的で、という動機がまったく不明なところが不気味です。全国規模で多発していて、児童や生徒の写真が狙われている点から、なりすまし詐欺を狙ったブコ集団の仕業かと思ったりしましたが、犯罪心理学者などは「いじめや、学校生活への恨み、教師や部活動に対するネガティブな感情を持つ者の犯行ではないか」「少しでも復讐したいという心理、暗い攻撃性の表れではないか」と指摘しています。どんな意図でなされた行為かは分かりませんが、歪んだ情熱のよってきたところが気になります。かと思えば、この夏は関東各地の県立高校で、硬式野球部のボールが大量に盗まれるという事件が頻発しました。これまた従来の常識では計り知れない事件です。「いやはや」と途方に暮れる思いです。

東アジア文化都市の事業の3つの柱



さて、豊島区は2019年「東アジア文化都市」の国内候補都市に決定いたしました。「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。

「東アジア文化都市」を開催することは「国際アート・カルチャー都市」を掲げる豊島区にとって、まさに悲願でした。2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前に控えた2019年、世界の耳目が東京に集中し、もっとも機運が高まっているこのタイミングに豊島区で開催することで、豊島区の魅力を世界に向けて発信する絶

好の機会と捉えています。

この10年間、私は「文化があるところに賑わいがあり、賑わいがあるところに文化が生まれる」という強い理念を持って、文化創造都市、安全・安心創造都市、さらに進化させて「国際アート・カルチャー都市構想」というビジョンを掲げてきました。その結果、まちのイメージは一変し、今では池袋は「住みたいまちランキング」の上位にランクインするようになりました。

これに満足することなく、この先の未来をも見据え、将来の世代のために魅力あるまちづくりを進めてまいります。もちろん図書館もその一翼を担っていきます。さらに魅力ある図書館をめざしてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

フェスティバルFUKUSHIMA! @ 池袋西口公園 撮影：菊池良助

池袋ハロウィンコスプレイベント

としま能の会 写真：青木信二

生涯の一冊

(45)



■「おしいれのぼうけん」
ふるたたるひ、さく
たばたせいいち 画
童心社 1980年

株式会社童心社会長

酒井 京子

1946年、疎開先の千葉県で生まれる。1968年童心社入社。「14ひきのシリーズ」「びゅんびゅんごまがまわったら」などを編集。編集長・社長を経て、現在は会長。「紙芝居会文化の会」代表も努めている。



編集人生への第一歩

私と神戸光男さん(当時、童心社編集長)が古田足日さん宅を訪ねたのは、今から約50年前のことです。

その頃、私は、子どもの本の編集を続けていくのか? 悩んでいました。大げさな言い方をすれば、子どもの本の編集という仕事が、人生を賭けるに足る仕事なのかどうか? 悩んでいたのです。そんな時「児童文学の旗」(理論社)を読み、古田さんなら、この悩みに答えてくれるかも知れないと考え、時間をとっていただいたのでした。古田さんは、私の疑問にたくさん答えて下さいまし

た。そして、これからどんな作品が必要か、にいてもお話しして下さいました。さらに、絵本創りは、作家・画家・編集者の三位一体で創ることが大事だと語って下さいました。この話し合いが、発端となり、約3年後に『おしいれのぼうけん』(田畑精一・絵)は、誕生しました。その、制作過程は、若い私にとって何もかもが冒険でした。恐ろしかったのは、古田さんの書き進めた途中の原稿について、感想や意見を求められた時でした。私は、自分の持てる力をすべて出して大きな存在にぶつかっていました。古田・田畑さんはいつも真摯に私の意見を聞いて下さいました。でも、いつも自分の力のなさを知らされるばかりでした。

こうして、私の編集者としての第一歩が始まりました。そして、私の編集者としての第一歩が



平成26年5月30日に亡くなられた粕谷一希氏は、豊島区図書館行政政策顧問、のち豊島区参与に就任し、新しい時代の図書館構想の実現を目指してご尽力くださいました。かたわら「ふるさと豊島を想う会」を主宰し、「文化によるまちづくり政策」を提唱。豊島区文化政策アドバイザーとして、平成20年度文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)受賞に寄りました。今年、粕谷氏の没後三周年にあたり、粕谷氏の編集・評論活動と、豊島区の文化活動への貢献を顕彰する記念行事を行っています。このコーナーでは、粕谷氏と親交の深かった藤原作弥氏に思い出をご寄稿いただきました。

「わが人生の師」

藤原 作弥

粕谷さんとお会いしたのは、米国特派員から帰国後、1972年初めだった、と思う。雑誌『中央公論』から、原稿を依頼され、京橋の中公本所に持参した際、レストラン・プルニエでごちそうになった。言葉数の少ない編集長「藤原さん、小説を書いてみませんか?」と言った時は、いささかビックリした。時事通信の定期刊行物に週一回書いていた世相コラムをお見せしたところ、一冊の本にまとめるようアドバイスを頂戴した。その本『聖母病院の友人たち』が日本エッセイスト・クラブ賞を受賞して以来、新聞記者とノンフィクション作家の「二足の草鞋」の旅が始まった。

爾来、お亡くなりになるまでお付き合いが続いた。というより私が勝手に「弟子入り」した(積り)ののだが。銀座、新宿、池袋、四谷荒木町……と、道場はさまざまだったが、学ぶことは多かった。ジャーナリストとしては「保守リベラル」を最後まで貫かれたが、私もその薫陶を受け継いだ積りである。それは歴史と思想に基づく信念だった。国内外の旅行にもよくお伴をした。そのたびに氏の博識と見識から多くを学ぶことができた。

例えば氏は、私の祖父、忘れられた明治の歴史学者・藤原相之助の著作を、私以上に読んで知っていた。秋田に遊んだ時には田沢湖畔の祖父の墓に詣でて下さった。秋田市では『中央公論』の基礎を築いた滝田樗陰(たきたちよん)の墓所でも一所懸命、下草をむしっていた。文字通りの掃苔は、お住まいの隣り東京・池袋の雑司ヶ谷墓地における故人との対話の習性だったのかもしれない。私が日銀副総裁に就任した際、粕谷さんは深井英五の『通貨調節論』の一読を奨めて下さった。戦前の名総裁の金融論まで読んでいらしゃったのである。また佐藤一斎の「進退有命去我有義」という言葉でアドバイスを頂戴した。粕谷さんは私にとって誠に人生の師であった。



■ 藤原 作弥 (ふじわら さくや) 元日本銀行副総裁

1937年生まれ、宮城県出身。62年東京外国語大フランス学科卒業後、時事通信社入社。解説委員長などを経て、98年日本銀行副総裁。「聖母病院の友人たち」で第31回日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。主著に『満州 少国民の戦記』『李香蘭 私の半生』など。

Café KONOHON この本カフェ

11 月号

スカットしたい本

アクションシーンでは手に汗、ラブシーンではうっとりろけ、困難克服のクライマックスではガッツポーズも出る。映画やテレビを観た時だけでなく、本を読む時にもさまざまな感情が湧いてくる。それが読書体験のいいところ。当然、言葉ひとつ、物語一篇で爽やかにもなれる。自分のお気に入りの本の中でスカットするシーンを探してみたいかが。



書名『オロロ畑でつかまえて』

荻原浩 / 著 集英社文庫 2001年

本書は、直木賞作家荻原浩のデビュー作。日本最後の秘境・牛穴村の青年会は、村おこしのためウシアナザウルス、出現!という企画に取り組みすることになった。「牛穴村の龍神沼に太古の恐竜が甦る」と銘打ったドタバタ騒動は、こうして幕を開ける。結末は想像の通りだが、弱小広告代理店の杉山や女性TVキャスター臨坂の「ワイドショー的な大人の事情」も登場し、現実離れた騒動とやけに現実味ある話との切替えが絶妙だ。

読んで「スカット」とするかどうかはあなた次第。でも、本書に溢れるユーモアとウィットは、秋の夜長爽快に時間を忘れさせてくれる。

⇒ 【古清水 厚(こしみずあつし)】



書名『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』

岩崎夏海 / 著 ダイアモンド社 2009年

東京都立程久保高校野球部のマネージャーの川島みなみには、「野球部を甲子園に連れていく」という、一つの目標があった。

「マネージャー」という言葉の意味を調べているうち、ピーター・F・ドラッカーの経営書『マネジメント』に出会うみなみ。初めは内容の難しさに戸惑うものの、野球部を強くするには『マネジメント』が必要なのだとわかってくる。入院中のマネージャー宮田夕紀、同じくマネージャーの北条文乃、監督の加地誠、野球部の仲間達が、ドラッカーの教えをもとに力を合わせて甲子園を目指し、思いもかけないことも乗り越える、青春物語。

⇒ 【鈴木 広幸(すずきひろゆき)】



寄稿者はとしまコミュニティ大学の学習者の内、登録して学んでいる「マナビト生」です。マナビトゼミ担当の人類学者佐藤杜広氏の指導のもと、毎回テーマに合わせて文学、児童書、評論や科学などの分野からお薦め本を紹介しています。

豊島区

全3回
第2回

と童話



か 佳 山 西 山 利 佳

〈著者プロフィール〉
青山学院女子短期大学
子ども学科准教授。著
書に評論集「共感」の
現場検証、児童文学の
読みを読む「くらしお
出版」。共編著「わたし、
たちのアジア、大金洋戦争」
「明日の平和をさがす本300」
(岩崎書店)他。

鈴木三重吉「赤い鳥」

鈴木三重吉、「赤い鳥」を創刊



目白の森にて1924(大正13)年
鈴木三重吉、長女すず、長男瑞吉。
写真提供：鈴木家

この夏、夏目漱石が飼った猫の死を知らせた八ガキの二ユースを、目にとめた方もいらっしゃるでしょう(東京新聞「8月2日他」)。その「猫の死」通知「八ガキは1908年に、門下生4人に宛てて4枚出されたものこそです。この八ガキを受け取った門下生の一人が鈴木三重吉、今回の主役です。

三重吉は1882(明治15)年に広島市に生まれ、1904(明治37)東京帝大英文科に進み夏目漱石に傾倒し、小説家として歩み始めます。しかし、鈴木三重吉の名を今日に留めるのは、雑誌『赤い鳥』の刊行にあります。創刊号の奥付を見ますと、発行

所である「赤い鳥」社の住所は、編輯兼発行人である鈴木三重吉の住所と同じ「東京府北豊島郡高田村三五九番地」です。(西條八十が「目白駅を出て、線路添いの崖みちを一丁ほど行った左手の小さな平屋だった」と書いています。「赤い鳥」複製版解説・執筆索引「日本近代文学館1979」)

「赤い鳥」とは

三重吉の新雑誌創刊の動機と意気込みは、各巻の冒頭に掲げている「赤い鳥」の標榜語「に明らかです。その一節を挙げておきましょう。「赤い鳥」は世俗的な下卑た子供の読みものを排除して、子供の純性を保全開発するために、現代第一流の芸術家の真摯なる努力を集め、兼て、子供のための若き創作家の出現を迎える、一大区劃的運動の先駆である。原文の旧漢字は改めました。そして、創刊号に掲載されているのが、例えば芥川龍之介の「蜘蛛の糸」です。1918年の創刊から休刊(1929年4月から1930年末)をさきみ、1936(昭和11)年6月に三重吉が亡くなり、同年10月の「鈴木三重吉追悼号」まで、前後期合計196冊の「赤い鳥」が刊行されたのでした。その間、新美南吉の「くまのじいさん」(昭和7年1月)を始め多くの作品が発表されました。

子どものための総合芸術文化運動

さて、「赤い鳥」でまず目につくのは、多色刷りの美しい表紙です。(創刊号の表紙は前回掲載されています)。また、「赤い鳥」の大きな目玉は北原白秋の童謡で、「りす」小栗鼠(創刊号)始め、白秋の代表的な童謡が次々と発表されました。白秋自身は曲を付けるのに反対だったそうですが、読者の求めがきっかけで曲譜付きで童謡を掲載し始めます。その最初が西條八十作、成田為三作曲の「かなりや」(1919年5月号)です。折しもレコードやラジオが普及し始めた時代で、赤い鳥童謡は日本中で広く愛唱されることとなります。



「赤い鳥」複製版第1巻第1号 鈴木三重吉/主幹
日本近代文学館 1981年
「りすりす小栗鼠」北原白秋 清水良雄 絵

三重吉は子どもからも大人からも積極的に作品を募集しました。その選評や講評(詩・童謡は白秋、自由画は山本鼎、綴り方・童謡は三重吉)を通して、三重吉はある種の啓蒙運動を行っていたと言えるかも知れません。

また、「赤い鳥」にはたくさんのお劇の脚本が発表されました。それらは、「赤い鳥童謡劇集」(東京書籍1979)にまとめられています。その編著者故・富田博之氏も豊島区在住でした。

本コーナー第一回でも書いてありましたように、豊島区は自由主義教育運動の発祥の地でもありました。そういう流れと共に「赤い鳥」も運動と言える広がりを持ち得たのでしょう。

「赤い鳥」再び

戦後、児童雑誌が続々と復刊、創刊されます。「良心的児童雑誌」と言われるそれらの代表的な雑誌の一つに「赤とんぼ」(美業之日本社)があります。1946年4月の創刊のことには、「大正の頃鈴木三重吉氏によつて主唱された赤い鳥の運動をわれわれはまだ昨日のことのやうに覚えてゐる。われわれの今度の仕事を通じて子供の世界にもう一度輝かしい文芸復興の時が将来にわたるならその喜びは限りない」とあります。そして、「赤とんぼ会」は、大佛次郎、川端康成、岸田國士、豊島與志雄、野上彌生子という、「現代第一流の芸術家」でした。来年は「赤い鳥」創刊から百年目にあたります。その意義の顕彰や再考が多彩に企画されますので、目にも留めていただければ幸いです。

子ども時代の愛読書(全3回)

第2回 「少年源氏物語」のこと

作家・歌人 尾崎 左永子

私をはじめ「源氏物語」に触れたのは、小学四年生の頃、母が買って来てくれた『少年源氏物語』(金蘭社)という、わりあい分厚い一冊でした。当時谷崎潤一郎の『源氏物語』訳が出ていて、年上の姉たちが次々に読んでいたので、年の離れた妹の私が、姉たちの話題から疎外されるかと配慮してくれたのかもかもしれません。読み易く分かり易く、話の流れも素敵で、姉たちと話し合った覚えはないものの、この経験が後にたいそう役に立ちました。

戦後七十年の間には活字本の原文も何種類か刊行され、また作家たちの訳本もいろいろ出ましたし、私自身も、講義用のダイジェスト訳を四巻にまとめてもいます。が、何しろ戦時中の学生で、軍需産業で働かされたたり、学制改革で一年早く卒業させられたり、ろくに学ぶことができません、何か一種の飢餓感が埋められなくて、私は五十歳を過ぎてから、早稲田の大学院に暫く在籍して、古典を読み直しはじめた時期がありました。そしてある日、前から存じ上げていた中野幸一先生の教育学部の教授室を、何気なく訪ねたのです。

そのとき、ずらりとならんだ書棚の一面に、私は思い設けず、あのなつかしい本を見つけたのです。『少年源氏物語』! 深い藍いろの表紙、美しい絵のついた分厚い一冊。なつかしい。私の古典経験の最初の、あの『源氏物語』が目の前に、背表紙の金いろの文字を輝かせていたのです。奇跡かと思いましたが、何か私を招き寄せたのでしょうか。中野先生は、教育学部を出て全国に高校などの教師として活躍する卒業生たちのために、わかり易い、中高生向けの書籍などを数多く収集されていていつでも貸し出せるように配慮されているのでした。



「源氏の恋文」尾崎左永子著
1984年 求龍堂
(第32回日本エッセイスト・クラブ賞受賞)





図書館イベント情報

各図書館の
連絡先

- 中央図書館 3983-7861
- 池袋図書館 3985-7981
- 駒込図書館 3940-5751
- 目白図書館 3950-7121
- 巣鴨図書館 3910-3608
- 千早図書館 3955-8361
- 上池袋図書館 3940-1779
- 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

★…児童・あかちゃん向け ☆…文字・活字文化の日スペシャルおはなし会 ●…一般向け

毎週、本の読み聞かせなどのイベントを行っています。遊びに来て下さいね。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	10月	11月	12月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 14:00	最終日曜日 10:30 11:30	★1日・おはなしこうさく会 14:00~14:30 ☆15日・わくわくおはなし会@ラシーヌ (南池袋公園) 10:00~10:30 ●28日・初心者向け図書館HP検索講座※ 14:00~16:00 ●29日・初心者向け図書館HP検索講座※ 10:30~12:30	★5日・おはなしこうさく会 14:00~14:30 ★18日・豊島岡女子学園おはなし会 14:00~14:30 ★26日・虹のポケットおはなし会 14:00~14:30	★10日・0・1・2冬のスペシャルおはなし会※ 11:00~11:30 ★17日・冬のスペシャルおはなし会※ 14:00~15:00
駒込図書館 こまちゃんのへや (※印は地域文化創造館)	土曜日 15:00	第1水曜日 11:00※	☆21日・おはなし会 15:00~16:00 ★26~28日・ぬいぐるみお泊り会		★16日・クリスマススペシャルおはなし会※ 15:00~16:00
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 15:30	第3火曜日 11:00	★4日・ほんのじかんこうさく会 15:30~16:00 ☆18日・おはなし会 15:30~16:00	★8日・ほんのじかん紙芝居の日 15:30~16:00 ●19日・「本の福袋」を作ってみませんか? 14:00~16:00	★13日・ほんのじかん冬のスペシャル 15:30~16:00 ★19日・おはなしびよびよ冬のスペシャル 11:00~11:30
上池袋図書館 おはなしのへや (※印は地下ホール)	水曜日 15:00	最終水曜日 11:00※	★14日・親子で楽しむ映画会※ 14:00~14:30 ★15日・折り紙でGO!※ 11:00~12:00 ●21日・鉄道映画会※ 10:00~11:30 ☆25日・おはなし会 15:00~15:30 ★29日・新聞紙で変身!※ 13:30~15:00	★18日・親子で楽しむ映画会※ 14:00~14:30 ●25日・バリアフリー映画会※ 13:30~15:30	★16日・親子で楽しむ映画会※ 14:00~14:30 ★20日・冬のスペシャルおはなし会※ 15:00~15:30
池袋図書館 ワークルーム (※印は区民集会所)	土曜日 14:30	第1水曜日 11:00	☆28日・おはなし会 14:30~15:30 ★28~29日・ぬいぐるみおとまり会	●15日・読みきかせ講座※ 11:00~12:00 ●19日・大人の調べ学習※ 14:00~15:30 ★25日・おはなしたんぽぽスペシャル 14:30~15:30	★9日・クリスマスこうさく会 14:30~15:30 ★23日・たんぽぽクリスマス会 14:30~15:30
目白図書館 地下区民集会所	水曜日 15:00	第1水曜日 14:00	★21日・かきくこうさく会 14:00~15:00 ★26~28日・ぬいぐるみお泊り会 ☆25日・おはなし会 15:00~15:30 ●29日・バリアフリー映画会「西の魔女が死んだ」 14:00~16:00		★13日・あいうえおはなし会 クリスマススペシャル 15:00~15:30
千早図書館 視聴覚室	水曜日 15:30	水曜日 10:30	★7日・土曜日のほんとおはなし会 15:30~16:00 ☆11日・おはなし会 15:30~16:00	★8日・ほんところこうさく会 15:30~16:00	★13日・冬のスペシャルおはなし会 「クリスマス会」 15:30~16:00

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

★10月27日は文字・活字文化の日～おはなし会のご案内～★

知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現を目指して、平成17年7月に文字・活字文化振興法が制定されました。それに伴い、10月27日を「文字・活字文化の日」と定め、文字・活字文化についての関心と理解を広く深めるための様々な取組みが行なわれています。区内各図書館では、子どもたちに向けて「文字・活字文化の日スペシャルおはなし会」を開催します!

▶詳細は各図書館へお問い合わせください!◀

●中央図書館移設10周年・粕谷一希氏没後3周年記念 かすや かすき 粕谷一希氏 文字活字愛と編集・評論活動

粕谷氏の著書、編集した雑誌や世に送り出した作家たちの著書のほか、愛用品等を展示しています。

【展示期間】 8月26日(土)～10月26日(木)
【展示会場】 中央図書館5階特別展示コーナー

●特別講演会 後輩編集者が語る! 粕谷一希さん

『中央公論』元編集長で、本紙巻頭コラムの筆者、河野氏に、粕谷氏の編集・評論活動とその業績についてお話しいただきます。

【日 時】 10月21日(土) 午後2時から4時
【講 師】 豊島区図書館専門研究員 水谷千尋 氏
ほぼ日学校長 河野通和 氏
【会 場】 あうるすぽっと会議室B
【定 員】 先着100名
(9月4日より受付中)
【その他】 参加無料、手話通訳あり



河野通和氏

●地域研究ゼミナール 豊島区と童話(全3回)

豊島区は児童雑誌「赤い鳥」発祥の地です。「赤い鳥」が日本の児童文学・児童音楽に与えた影響について検証します。3頁、同タイトルで連載しているコーナーの筆者が講師を務めます。

第1回 豊島区の児童文化の背景 (浅岡靖央氏)
第2回 鈴木三重吉「赤い鳥」(西山利佳氏)
第3回 坪田譲治「びわの実学校」(宮田航平氏)

【日 時】 11月18日(土)、12月3日(日)、12月16日(土)
いずれも午後2時から4時
【会 場】 中央図書館5階会議室
【定 員】 先着40名(10月11日午前10時より受付)
【その他】 参加費500円(初回にいただきます)

●特別講演会・地域研究ゼミナール●

【申込】 電話・FAX・メール・直接来館
【問い合わせ】 中央図書館企画調整グループ
電話：3983-7861 FAX：3983-9904
メール：A0027900@city.toshima.lg.jp

駒込図書館 講演会「移動式本屋BOOK TRUCK・一冊の本～人生を変える可能性～」

【日時】 11月18日(土) 午後2時から3時30分
【講師】 本屋・ブックディレクター／三田修平氏
【定員】 先着30名(11月4日より受付)

目白図書館 イクメンパパ向け読み聞かせ勉強会

【日時】 11月18日(土) 午後3時から4時30分
【講師】 童話作家／原正和氏
【定員】 先着30名(11月1日より受付)

千早図書館 講演会「翻訳ってどんな仕事？」

【日時】 11月23日(木) 午後1時30分から3時
【講師】 やまねこ翻訳クラブ
【定員】 当日先着50名

開催
予
告!

開館時間	中央図書館	駒込・上池袋・千早図書館	巣鴨・池袋・目白図書館	雑司が谷図書貸出コーナー																																																																																																																																																																								
平日 午前10時～午後10時 土日祝 午前10時～午後6時	●駒込・上池袋● 平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前9時～午後6時 ●千早● 平日 午前9時～午後7時 土日祝 午前9時～午後6時 ※駒込図書館は、平日は、午前8時から資料の返却と、予約資料の受取りができます。	●巣鴨● 平日 午前9時～午後7時 土日祝 午前9時～午後6時 ●池袋・目白● 平日 午前9時～午後8時 土日祝 午前9時～午後6時	平日 午前10時～午後7時 土日祝 午前10時～午後5時																																																																																																																																																																									
○は土日祝の開館時間 ■は休館日	<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td>①</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	日	月	火	水	木	金	土	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																																																						
①	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																						
8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																						
15	16	17	18	19	20	21																																																																																																																																																																						
22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																						
29	30	31																																																																																																																																																																										
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																																																						
①	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																						
8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																						
15	16	17	18	19	20	21																																																																																																																																																																						
22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																						
29	30	31																																																																																																																																																																										
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																																																						
①	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																						
8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																						
15	16	17	18	19	20	21																																																																																																																																																																						
22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																						
29	30	31																																																																																																																																																																										
日	月	火	水	木	金	土																																																																																																																																																																						
①	2	3	4	5	6	7																																																																																																																																																																						
8	9	10	11	12	13	14																																																																																																																																																																						
15	16	17	18	19	20	21																																																																																																																																																																						
22	23	24	25	26	27	28																																																																																																																																																																						
29	30	31																																																																																																																																																																										
10月	11月	12月																																																																																																																																																																										

千早 進歩 自由 夢

◆10月 紙芝居あれこれ
大人も子どももよっといで～!

【日 時】 10月21日(土)
午前10時から12時(開場：9時30分)

【公演】 じゃんぼ(昔ながらの紙芝居屋さん)
【内容】 いろいろの紙芝居、昭和の街頭紙芝居
【定員】 先着50名 ※小学生以上

◆11月 バイオリン演奏会
クラシックからアニメ、絵本の世界まで

【日 時】 11月18日(土)
午前10時から12時(開場：9時30分)

【公演】 手嶋佳津子氏
【内容】 チャルダッシュ、魔法使いサリーほか、
バイオリン体験
【定員】 先着50名

◆12月 講演と朗読
「豊島の福祉を拓いた女性たち」

【定員】 12月2日(土)
午後2時から4時(開場：1時30分)

【講演】 「社会事業に一生を捧げた女性たち」
【定員】 先着50名

【会場】 千早図書館2階 視聴覚室
【問い合わせ】 千早図書館 ☎3955-8361

▶粕谷氏の展示・講演会は、展示物のご提供やチラシの送付にあたり、出版社の皆様や地元の皆様など、たくさんの方々にご協力をいただき、準備を進めれば進めるほど、粕谷氏の人望や影響力を知ることができました(高校)

▶雑誌「赤い鳥」「びわの実学校」は豊島区で生まれ、多くの童話作家、童謡の作詞作曲家、挿絵画家の活躍の場でした。誇れる地域史を「地域研究ゼミナール」で学んでください。お待ちしております(狩野)